

調査結果の概要

1 小学校

(1) 学校数 (表1)

学校数は792校(国公立789校、私立3校)で、前年度から3校減少している。

表1 小学校の設置者別学校数

区分	(校)			
	計	国立	公立	私立
平成3年度	803	3	797	3
8	807	3	801	3
9	800	3	794	3
10	795	3	789	3
11	795	3	789	3
12	795	3	789	3
13	792	3	786	3

(2) 児童数 (表2、図1)

児童数は293,976人(男子150,221人、女子143,755人)で、前年度に比べ3,765人減となっており、昭和57年度(448,882人)から年々減少している。

第1学年の児童数は48,999人で前年度より1,582人増加している。

1学級あたりの児童数は29.5人で、前年度より0.2人減少している。

本務教員1人あたりの児童数は19.6人で、前年度より0.3人減少している。

(3) 教員数 (表2)

教員数(本務者)は、15,012人で、前年度より28人増加している。

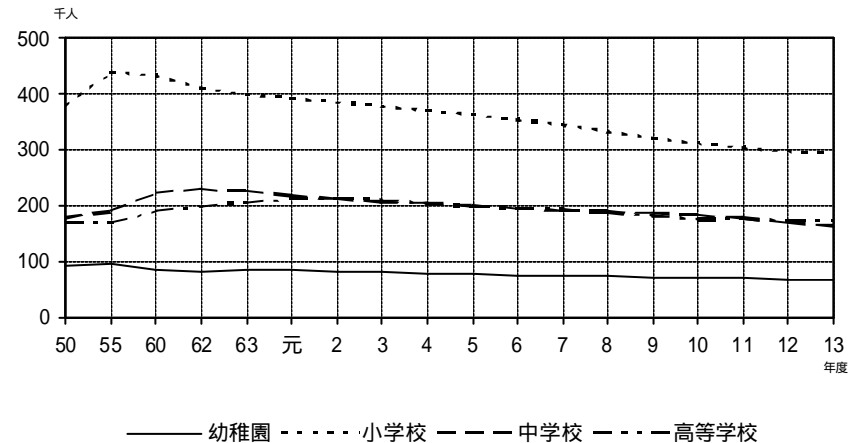
表2 小学校の学年別児童数

区分	計	性別		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
		男	女				
平成3年度	378,517	193,699	184,818	60,438	61,744	62,196	62,908
8	333,179	170,663	162,516	49,904	52,766	53,069	57,127
9	321,308	164,520	156,788	49,010	49,983	52,871	53,159
10	311,914	159,421	152,493	48,983	49,135	50,050	53,007
11	303,529	155,202	148,327	48,426	49,113	49,229	50,148
12	297,741	152,319	145,422	47,417	48,460	49,133	49,307
13	293,976	150,221	143,755	48,999	47,517	48,513	49,230

つづき (人)

区分	第5学年	第6学年	学級数	1学級あたりの児童数	本務教員数	本務教員1人あたりの児童数
平成3年度	63,860	67,371	12,101	31.3	16,921	22.4
8	58,954	61,359	10,962	30.4	15,956	20.9
9	57,222	59,063	10,622	30.2	15,627	20.6
10	53,376	57,363	10,362	30.1	15,327	20.4
11	53,151	53,462	10,122	30.0	15,078	20.1
12	50,233	53,191	10,011	29.7	14,984	19.9
13	49,363	50,354	9,957	29.5	15,012	19.6

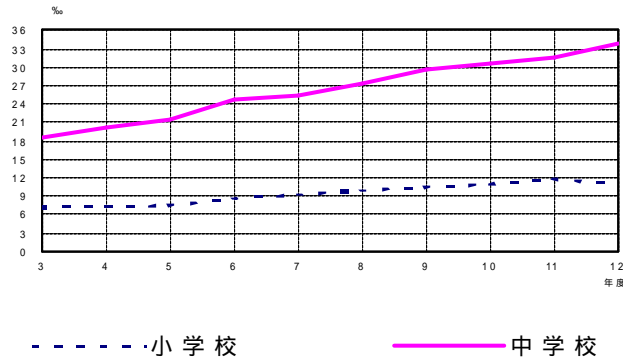
図1 年度別園児児童生徒数



(4)長期欠席者数(図2)

平成12年度間の30日以上長期欠席者は3,233人で、前年度に比べ336人減となっており、全児童数に占める比率は1.09%である。理由別では、「病気」が65.1%で「不登校」は26.0%である。不登校者数は、839人と、前年度より53人増加している。

図2 30日以上長期欠席者率の推移



2 中学校

(1)学校数(表3)

学校数は378校(国公立349校、私立29校)で、前年度から1校(公立)減少している。

表3 中学校の設置者別学校数

区分	設置者別学校数 (校)			
	計	国立	公立	私立
平成3年度	372	3	348	21
8	381	3	352	26
9	382	3	352	27
10	380	3	350	27
11	379	3	348	28
12	379	3	347	29
13	378	3	346	29

(2)生徒数(表4)

生徒数は163,976人(男子83,633人、女子80,343人)で、前年度に比べ5,803人減となっており、昭和62年度(229,846人)から年々減少している。

第1学年の生徒数は53,086人で前年度より250人減少している。

1学級あたりの生徒数は34.2人で前年度より0.3人減少している。

本務教員1人あたりの生徒数は17.0人で前年度より0.3人減少している。

(3)教員数(表4)

教員数(本務者)は、9,667人で、前年度より、153人減少している。

表4 中学校の学年別生徒数

区分	計	性別		第1学年	第2学年	第3学年
		男	女			
平成3年度	207,118	105,606	101,512	68,203	69,035	69,880
8	188,878	96,022	92,856	62,558	62,760	63,560
9	186,813	95,025	91,788	61,205	62,690	62,918
10	183,104	93,425	89,679	58,940	61,361	62,803
11	177,796	90,776	87,020	57,273	59,074	61,449
12	169,779	86,677	83,102	53,336	57,315	59,128
13	163,976	83,633	80,343	53,086	53,454	57,436

つづき

区分	学級数	1学級あたりの生徒数	本務教員数	本務教員1人あたりの生徒数
平成3年度	5,940	34.9	10,963	18.9
8	5,456	34.6	10,544	17.9
9	5,362	34.8	10,472	17.8
10	5,240	34.9	10,305	17.8
11	5,111	34.8	10,114	17.6
12	4,925	34.5	9,820	17.3
13	4,794	34.2	9,667	17.0

(4)長期欠席者数(図2)

平成12年度間の30日以上長期欠席者は5,734人で、前年度に比べ99人増となっており、全生徒数に占める比率は3.38%である。理由別では、「不登校」が76.9%で「病気」は18.1%である。不登校者数は、4,412人と330人増加している。

3 高等学校

a 全日制課程、定時制課程

(1) 学校数 (表5)

学校数は186校(公立124校、私立62校)で、前年度と同数となっている。

表5 高校の設置者別学校数

区分	(校)		
	計	公立	私立
平成3年度	185	123	62
8	185	123	62
9	186	124	62
10	186	124	62
11	186	124	62
12	186	124	62
13	186	124	62

(2) 生徒数 (表6、図1)

生徒数は168,578人(男子84,696人、女子83,882人)で、前年度と比べ4,540人減となっており、平成2年度(213,446人)から年々減少している。

全日制課程(本科)の生徒数は164,456人と、前年度より4,581人減少している。

定時制課程(本科)の生徒数は、3,433人と前年度より43人増加している。

本科の生徒数(167,889人)を学科別に見ると、普通科118,407人が最も多く70.5%を占めており次いで工業科(16,435人)9.8%、商業科(14,356人)8.6%、家庭科(5,359人)3.2%となっている。

本務教員1人あたりの生徒数は17.3人で前年度より0.3人減少している。

(3) 教員数 (表6)

教員数(本務者)は、9,740人で、前年度より、115人減少している。

表6 高等学校の生徒数

(人)

区分	計			全日制	定時制	専攻科
		男	女			
平成3年度	209,739	105,983	103,756	206,402	2,774	563
8	187,776	94,377	93,399	184,443	2,741	592
9	182,050	91,281	90,769	178,587	2,880	583
10	177,739	88,970	88,769	173,971	3,135	633
11	175,528	87,803	87,725	171,539	3,324	665
12	173,118	86,779	86,339	169,037	3,390	691
13	168,578	84,696	83,882	164,456	3,433	689
つづき						
区分	本務教員数	本務教員1人あたり生徒数				
平成3年度	10,150	20.7				
8	10,197	18.4				
9	10,160	17.9				
10	10,064	17.7				
11	9,954	17.6				
12	9,855	17.6				
13	9,740	17.3				

b 通信制課程

(1) 学校数

学校数は併置校4校で前年度と同数となっている。

(2) 生徒数

生徒数は5,135人で前年度より311人増加している。

(3) 教員数

教員数は121人(本務者54人、兼務者67人)で前年度より3人増加している。

4 盲・聾・養護学校

(1)学校数(表7)

学校数は40校(盲学校4校、聾学校5校、養護学校31校)で、前年度と同数となっている。

(2)生徒数(表7)

生徒数は3,651人(盲学校178人、聾学校295人、養護学校3,178人)で、前年度に比べ99人増(盲学校6人増、聾学校31人増、養護学校62人増)となっている。

(3)教員数(表7)

教員数(本務者)は2,082人(盲学校147人、聾学校175人、養護学校1,760人)で、前年度に比べ39人増(盲学校11人減、聾学校2人増、養護学校48人増)となっている。

表7 盲学校・聾学校・養護学校の学校数等

	盲学校			聾学校			養護学校		
	学校数 (校)	生徒数 (人)	教員数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	教員数 (人)	学校数 (校)	生徒数 (人)	教員数 (人)
平成3年度	3	161	146	5	246	171	31	2,943	1,614
8	4	165	155	5	240	173	31	2,894	1,614
9	4	154	151	5	244	173	31	2,907	1,607
10	4	153	146	5	238	174	31	2,961	1,648
11	4	168	154	5	248	171	31	3,053	1,707
12	4	172	158	5	264	173	31	3,116	1,712
13	4	178	147	5	295	175	31	3,178	1,760

5 幼稚園

(1)園数(表8)

幼稚園数は523園(国公立76園、私立447園)で、前年度から7園減少している。

表8 幼稚園の設置者別学校数

区分	(校)			
	計	国立	公立	私立
平成3年度	570	1	84	485
8	550	1	83	466
9	544	1	80	463
10	539	1	79	459
11	530	1	76	453
12	530	1	76	453
13	523	1	75	447

(2)園児数(表9、図1)

園児数は67,017人(男子33,901人、女子33,116人)で、前年度に比べ942人減となっており、平成元年度(83,317人)から年々減少している。

園児数を年齢別に見ると3歳児15,138人(全園児の22.6%)、4歳児25,656人(同38.3%)、5歳児26,223人(同39.1%)となっている。

本務教員1人あたりの園児数は15.5人で前年度より0.3人減少している。

(3)教員数(表9)

教員数(本務者)は4,318人となっており、前年度より26人増加している。

表9 幼稚園の年齢別園児数

区分				3歳	4歳	5歳	本務教員数	本務教員1人あたり児童数
	計	男	女					
平成3年度	80,673	41,177	39,496	12,231	32,984	35,458	4,150	19.4
8	72,290	36,721	35,569	14,778	28,300	29,212	4,130	17.5
9	71,369	36,243	35,126	14,754	27,689	28,926	4,159	17.2
10	70,075	35,604	34,471	15,022	26,895	28,158	4,156	16.9
11	69,109	34,943	34,166	14,628	27,061	27,420	4,171	16.6
12	67,959	34,375	33,584	14,582	25,746	27,631	4,292	15.8
13	67,017	33,901	33,116	15,138	25,656	26,223	4,318	15.5

6 専修学校

(1)学校数(表10)

学校数は177校(国立5校、公立4校、私立168校)で、前年度に比べ4校減となっている。

(2)生徒数(表10、図3)

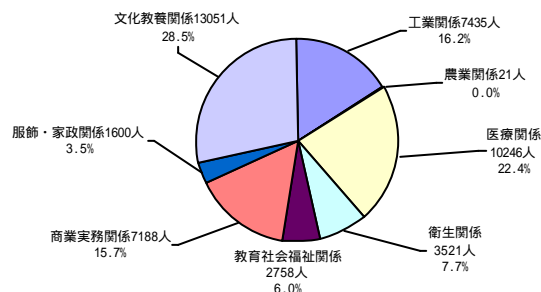
生徒数は45,820人(男21,689人、女24,131人)で、前年度に比べ844人増(男337人増、女507人増)となっている。構成比は、男47.3%、女52.7%となっている。

生徒数を分野別にみると、最も多いのが文化・教養関係13,051人(全生徒数の28.5%)、次いで医療関係10,246人(同22.4%)、工業関係7,435人(同16.2%)、商業実務関係7,188人(同15.7%)等となっている。

表10 専修学校の設置者別学校数、生徒数

区分	設置者別学校数				生徒数		
	計	国立	公立	私立	計	男	女
平成3年度	150	8	3	139	33,930	15,997	17,933
8	169	6	4	159	41,741	21,349	20,392
9	175	6	4	165	40,730	20,043	20,687
10	176	6	4	166	42,204	20,517	21,687
11	179	6	4	169	43,515	20,719	22,796
12	181	6	4	171	44,976	21,352	23,624
13	177	5	4	168	45,820	21,689	24,131

図3 専修学校の分野別生徒数



7 各種学校

(1)学校数(表11)

学校数は65校(公立3校、私立62校)で、前年度に比べ1校減(私立)となっている。

(2)生徒数(表11)

生徒数は9,139人(男5,204人、女3,935人)で、前年度に比べ550人増(男501人増、女49人増)となっている。構成比は、男56.9%、女43.1%となっている。

表11 各種学校の設置者別学校数、生徒数

区分	設置者別学校数			生徒数			
	計	国立	公立	私立	計	男	女
平成3年度	117	0	4	113	22,571	15,592	6,979
8	90	0	3	87	12,203	7,551	4,652
9	86	0	3	83	12,992	7,666	5,326
10	76	0	3	73	8,767	4,992	3,775
11	68	0	3	65	9,048	4,991	4,057
12	66	0	3	63	8,589	4,703	3,886
13	65	0	3	62	9,139	5,204	3,935

8 中学校卒業後の状況

(1)卒業生数(表12)

卒業生総数は59,152人で、前年に比べ2,320人減となっている。

(2)卒業生の進路(表12)

卒業生の内訳は、高等学校等進学者57,003人、専修学校等入学者274人、公共職業能力開発施設等入学者120人、就職者は就職進学者・就職入学者の26人を含め555人、左記以外の者等1,226人となっている。

専修学校等入学者には、専修学校専門課程進学者を含む。

表12 進路別卒業生数(中学校)

区分	卒業生数		高等学校等進学者数		専修学校 等入学者	公共職業能力開 発施設等入学者	就職者		
	A	B	志願者	C			D	E	1次産業
平成3年度	72,553	69,627	70,630	923	...	1,360	29	713	
8	64,462	62,436	62,913	511	...	829	9	460	
9	63,643	61,520	62,059	479	...	859	39	480	
10	62,969	60,936	61,367	462	...	698	24	355	
11	62,914	60,735	61,188	373	110	619	13	324	
12	61,472	59,475	59,826	309	86	499	16	264	
13	59,152	57,003	57,348	274	120	555	22	265	

つづき

区分	就職先別		左記以外 の者等		就職 進学者	進学率 (%)	就職率 (%)	
	3次産業	その他	県内	県外				
	H	I	J	K	L	M	N	O
平成3年度	586	32	1,116	244	795	152	96.0	1.9
8	327	33	739	90	777	91	96.9	1.3
9	290	50	769	90	841	56	96.7	1.3
10	296	23	609	89	937	64	96.8	1.1
11	236	46	547	72	1,116	39	96.5	1.0
12	196	23	451	48	1,127	24	96.8	0.8
13	215	53	504	51	1,226	26	96.4	0.9

(3)高等学校等進学者(表12)

高等学校等進学者数は、57,003人で、前年度より、2,472人減少している。
進学率は96.4%となっており、前年より0.4ポイント低下している。

(4)専修学校等入学者(表12)

専修学校等入学者数は、274人で、前年度より35人減少している。

(5)就職状況(表12)

就職者総数(就職進学者、就職入学者を含む)は、555人と、前年度より56人増加している。

就職率は0.9%となっており、前年より0.1ポイント上昇している。

注：1 就職進学者とは、就職しながら高等学校本科及び別科、高等専門学校、専修学校高等課程、盲・聾・養護学校高等部の本科及び別科へ進学した

者をいう。

2 就職入学者とは、就職しながら専修学校一般課程等、各種学校、公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。

9 高等学校卒業後の状況

(1)卒業生数(表13)

卒業生総数は54,671人で、前年に比べ797人減となっている。

(2)卒業生の進路(表13、図4)

卒業生の内訳は、大学等進学者23,922人、専修学校等入学者15,167人、公共職業能力開発施設等入学者244人、就職者は就職進学者・就職入学者の183人を含め10,123人、左記以外者等5,398人となっている。

表13 進路別卒業生数(高校)

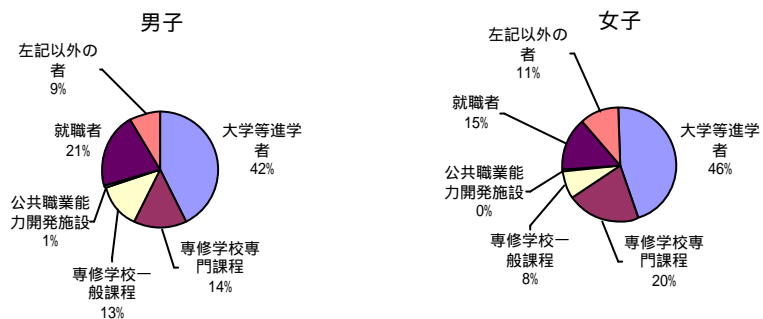
区分	卒業生数		大学等進学者数		専修学校 等入学者	公共職業能力開 発施設等入学者	就職者
	A	B	志願者	C			
平成3年度	67,416	23,024	35,077	19,700	...	23,013	
8	61,769	25,251	34,874	17,317	...	15,110	
9	61,057	25,941	33,835	16,562	...	14,011	
10	59,525	26,056	33,066	15,598	...	13,183	
11	56,736	25,346	31,518	14,697	216	11,039	
12	55,468	24,810	30,976	14,869	212	9,781	
13	54,671	23,922	30,197	15,167	244	10,123	

つづき

区分	左記以外 の者等		就職 進学者	進学率 (%)	就職率 (%)	
	県内	県外				
	F	G	H	I	J	K
平成3年度	18,733	4,280	2,085	406	34.2	34.1
8	13,176	1,934	4,521	430	40.9	24.5
9	11,970	2,041	4,923	380	42.5	22.9
10	10,965	2,218	5,021	333	43.8	22.1
11	9,166	1,873	5,680	242	44.7	19.5
12	8,470	1,311	6,051	255	44.7	17.6
13	8,680	1,443	5,398	183	43.8	18.5

(注) A=B+C+D+E+H-I E=F+G J=B÷A×100
K=E÷A×100 I...B、C、Dのうち就職している者

図4 男女別高等学校卒業後の状況



上記の就職者には就職進学者及び就職入学者は含まれない

(3)大学等進学者(表13、図5)

大学等進学者数は、23,922人と、前年度より、888人減少している。
 大学等進学率は43.8%となっており、前年より0.9ポイント減少している。

(4)専修学校等入学者(表13、図5)

専修学校等入学者数は、15,167人と、前年度より、298人増加している。
 専修学校等入学率は、28.2%となっており、前年より1ポイント増加している。

(5)就職状況(表13、図5、図6、図7)

就職者総数(就職進学者、就職入学者を含む。)は、10,123人と、前年度より、342人増加している。
 就職率は18.5%(男21.0%、女16.0%)となっており、過去最低であった前年より0.9ポイント増加している。

就職者総数を産業別にみると、製造業が3,102人(30.6%)と最も多く、次いでサービス業2,516人(24.9%)、卸売・小売業、飲食店2,024人(20.0%)等となっている。

就職者総数を職業別に見ると「生産過程・労務作業者」が4,153人(就職者総数の41.0%)と最も多く、次いで「サービス職業従事者」1,999人(同19.7%)、「販売従事者」1,405人(同13.9%)、「事務従事者」1,351人(同13.3%)等となっている。

県外へ就職した者は1,443人で就職者の14.3%を占めており、前年度より0.9ポイント増加している。

- 注：1 就職進学者とは、就職しながら大学・短期大学の本科・別科及び通信教育、専修学校専門課程、高等学校専攻科、盲・聾・養護学高等部専攻科へ進学した者をいう。
 2 就職入学者とは、就職しながら専修学校一般課程等、各種学校、公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。
 3 専修学校等入学率には、公共職業能力開発施設等入学者を含む。
 4 就職率には、就職進学者、就職入学者数を含む。

図5 高等学校卒業後の進学率・就職率

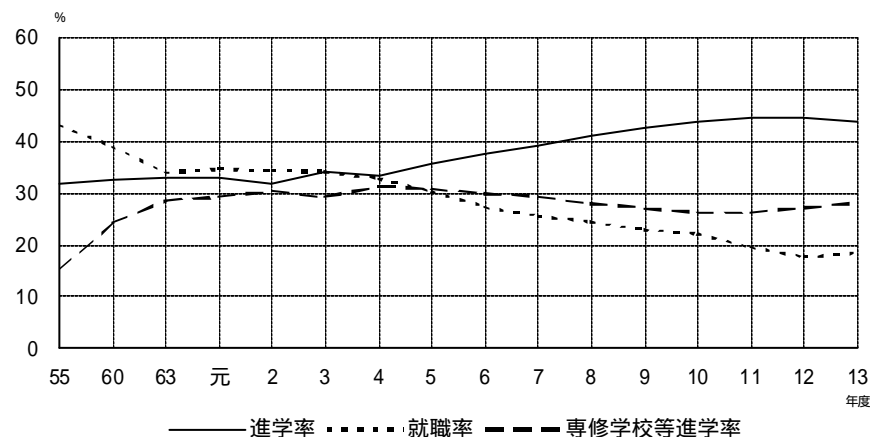


図6 高校卒業者の男女別に見た産業別就職者の比率

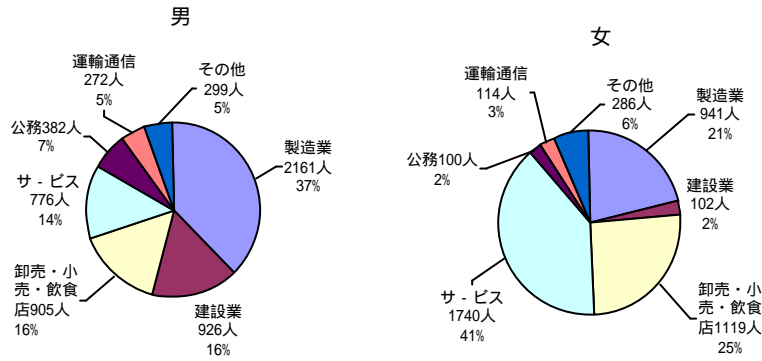
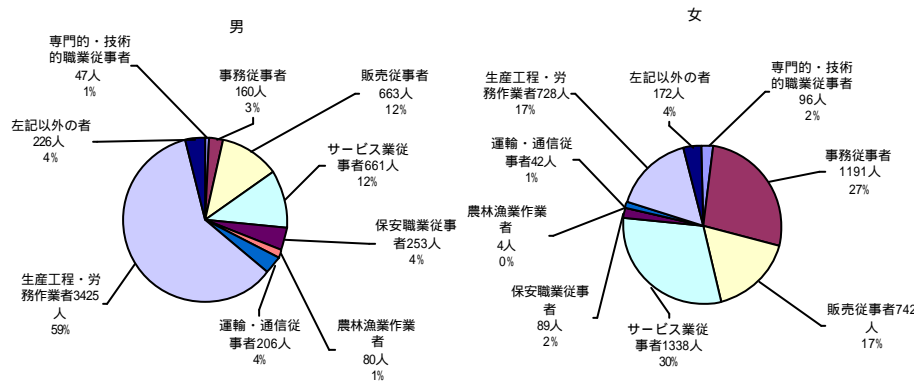


図7 高校卒業者の男女別に見た職業別就職者の比率



10 高等学校(通信制課程)卒業後の状況

(1)卒業者数

平成12年度間の卒業者総数は1,042人で、前年度間より86人増加している。

(2)卒業者の進路

卒業者を進路別に見ると「大学等進学者」172人、専修学校専門課程進学者215人、専修学校一般課程進学者19人、公共職業能力開発施設等入学者1人、就職者299人、左記以外の者等336人となっている。

11 盲・聾・養護学校卒業後の状況

(1)卒業者数

卒業者総数は中学部287人・高等部463人で、前年に比べ中学部9人減・高等部10人増となっている。

(2)卒業者の進路

卒業者を進路別に見ると、中学部は高等学校等進学者273人、専修学校高等課程進学者1名、公共職業能力開発施設等入学者1人、左記以外の者等12人、高等部は大学等進学者25人、専修学校専門課程進学者2人、公共職業能力開発施設等入学者13人、就職者81人、左記以外の者等342人となっている。

進学率は中学部95.1%・高等部5.4%となっており、前年より中学部で0.8ポイント、高等部で0.5ポイント上昇している。

就職率は高等部17.5%となっている。

1.2 地域別の状況等

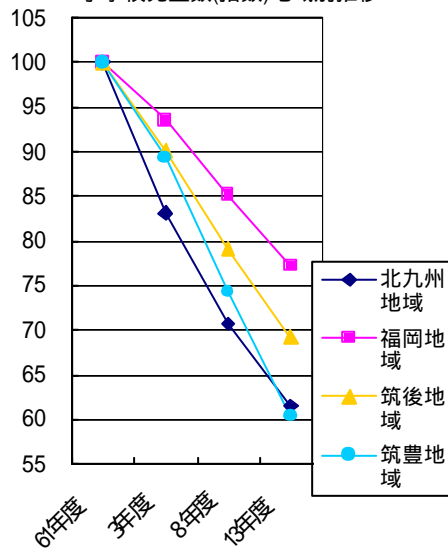
各調査項目の総数及び男女別等の調査結果概要は前記1～1.1のとおりであったが、そのうち一部の項目について地域別に状況を見たところ、結果は以下のとおりであった。

(1) 小学校児童数・中学校生徒数（4地域別）

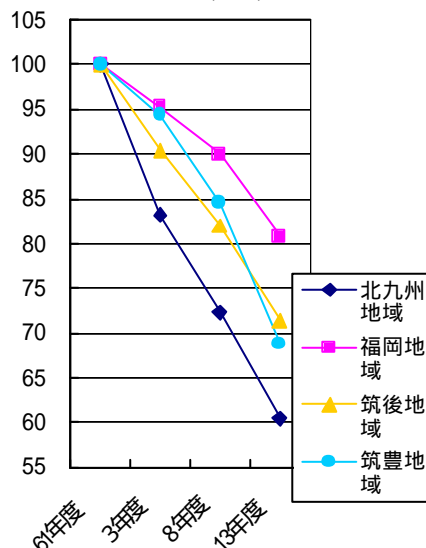
小学校児童数・中学校生徒数について、昭和61年度を100とした指数により5年ごとの推移状況をグラフにしたところ、図1・2のとおり15年後の平成13年度は約60～80に減少している。

減少率が特に大きいのは、小学校では筑豊地域(60.4)と北九州地域(61.5)、中学校では北九州地域(60.5)で、減少率が最も小さいのは、小中学校ともに福岡地域(小学校 77.2、中学校 80.8)となっている。

小学校児童数(指数)地域別推移



中学校生徒数(指数)地域別推移



広域圏別小学校児童数の推移

地域区分	61年度	3年度	8年度	13年度	増減数	指数	
福岡地域	福岡都市圏	171,449	160,651	146,247	132,996	-38,453	77.6
	甘木・朝倉広域圏	8,453	7,593	6,856	5,891	-2,562	69.7
筑後地域	久留米広域圏	40,663	37,026	32,798	29,476	-11,187	72.5
	有明広域圏	24,675	21,454	18,285	15,140	-9,535	61.4
	八女・筑後広域圏	12,510	11,630	10,483	9,261	-3,249	74.0
筑豊地域	飯塚広域圏	18,107	16,360	13,518	11,250	-6,857	62.1
	田川広域圏	13,855	12,381	10,421	8,381	-5,474	60.5
	直方・鞍手広域圏	11,390	9,977	8,290	6,563	-4,827	57.6
北九州地域	北九州都市圏	104,204	85,859	72,775	63,405	-40,799	60.8
	京築広域圏	17,807	15,586	13,506	11,608	-6,199	65.2
計	423,113	378,517	333,179	293,971	-129,142	69.5	

増減数は昭和61年度と平成13年度を比較、指数は昭和61年度を100とした平成13年度の指数

広域圏別中学校生徒数の推移

地域区分	61年度	3年度	8年度	13年度	増減数	指数	
福岡地域	福岡都市圏	90,340	85,953	81,356	73,139	-17,201	81.0
	甘木・朝倉広域圏	4,326	4,142	3,811	3,354	-972	77.5
筑後地域	久留米広域圏	22,230	20,138	18,280	16,137	-6,093	72.6
	有明広域圏	13,447	11,915	10,643	8,898	-4,549	66.2
	八女・筑後広域圏	6,646	6,193	5,799	5,171	-1,475	77.8
筑豊地域	飯塚広域圏	9,078	9,088	8,079	6,571	-2,507	72.4
	田川広域圏	7,280	6,520	5,905	4,886	-2,394	67.1
	直方・鞍手広域圏	5,971	5,457	4,892	3,906	-2,065	65.4
北九州地域	北九州都市圏	59,253	49,025	42,401	35,345	-23,908	59.7
	京築広域圏	10,072	8,687	7,712	6,569	-3,503	65.2
計	228,643	207,118	188,878	163,976	-64,667	71.7	

増減数は昭和61年度と平成13年度を比較、指数は昭和61年度を100とした平成13年度の指数

(2) 小学校児童・中学校生徒の構成の推移（広域圏別）

小学校児童数の圏域別構成の推移をみると、福岡都市圏は、昭和61年度40.5%から平成13年度45.2%と増加しており、北九州都市圏は、24.6%から、21.6%と減少している。また、久留米広域圏、八女・筑後広域圏は、やや増加しているものの、他の圏域は横這い、若しくは減少となっている。

